

研修カリキュラム

講義・演習 株式会社カスケード東京らいおんハート福祉アカデミー日立

項目	内容	時間数
1-1 多様なサービスの理解	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険サービス ・介護保険適用外のサービス <p>「介護」「介護保険制度とは?」「介護の意義とは?」等を勉強します。</p>	講義 3
1-2 介護職の仕事内容や働く現場の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な働く現場における仕事内容 ・サービス提供までの業務の流れ ・地域、社会との連携等 <p>「介護が目指すべき、その人の生活を支えるケアの実践、介護職が色々な場面でどのような仕事を行うのか」をグループ討議を織り交ぜて勉強します。</p>	講義 3
2-1 人権と尊厳を支える介護	<ul style="list-style-type: none"> ・人権と尊厳の保持 ・ICF, QOL、ノーマライゼーション」 ・虐待・拘束の防止と禁止 ・個人の権利とは。 <p>「利用者の尊厳のある暮らしをささえるのが介護職」「介護職としての基本的視点」を学びます。</p>	通信 6
2-2 自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・自立・介護予防と介護の目的の理解と <p>「自立支援・介護予防」の概念を学びます。</p>	講義 1.5 通信 1.5
3-1 介護職の役割、専門性と多職種との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・各介護現場の違い ・介護の専門性と色々な職種等を理解し <p>「介護の専門性とは」「医療・看護との連携」等を学びます。</p>	通信 2
3-2 介護職の職業倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理の意義 ・社会的責任等 <p>「職業倫理の重要性」を学びます。</p>	通信 1
3-3 介護における安全の確保とリスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・事故予防、感染対策の重要性とリスクマネジメントの理解と事故発生時の緊急対応を事例を通して学びます。 	講義 2
3-4 介護職の安全	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職の心身の健康管理等の重要性と予防を学びます。 	講義 1
4-1 介護保険制度	<ul style="list-style-type: none"> ・保険制度の背景・目的、動向の理解 ・仕組みの理解 ・制度の財源、組織・団体の機能と役割の理解 <p>「介護保険制度や障害者支援制度を担う一員として知っておくべき制度目的、サービスの流れ、役割・職務、等を学びます。</p>	通信 3

4-2 医療との連携とリハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療行為と介護 ・ 訪問看護 ・ 施設での看護と介護の役割・連携 <p>「介護保険制度や障害者支援制度を担う一員として制度の理念を学びます」</p>	通信 3
4-3 障害者自立支援制度及びその他制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者福祉制度の理念、制度の仕組み、個人の権利を守る制度の概要の理解と「利用者の生活を中心に考えることと、生活を支援するための介護保険制度、障害者自立支援制度、その他サービス等、個人の権利を守る制度の目的を学びます」 	講義 1.5 通信 1.5
5-1 介護におけるコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の心身機能に合わせた配慮 <p>「高齢者や障害者とのコミュニケーションを学びます」</p>	通信 3
5-2 介護におけるチームのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームケアにおける職員間でのコミュニケーションの理解と記録等グループワーク演習を交えて「情報の共有化、報告、環境を学びます」 	講義 3
6-1 老化に伴うところとからだの変化と日常	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心身の変化や疾病 <p>「加齢・老化に伴う心身の変化」、日常生活への影響を理解します。</p>	通信 3
6-2 高齢者と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の疾病と生活上の留意 ・ 高齢者に多い病気と日常生活上の留意 <p>「心身の変化、疾病の症状の具体例を挙げ、その対応・留意点等をグループワークを交えて学びます。」</p>	講義、演習 3
7-1 認知症を取り巻く状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ パーソンセンタードケア、 ・ 認知症ケア <p>「認知ケアの理念を理解し身体的不調と健康管理を学びます」</p>	通信 1
7-2 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の定義 ・ 物忘れとの違い ・ せん妄の症状 ・ 健康管理、治療 ・ 薬物療法等 <p>「認知症の概念、認知症の原因疾患と病態原因疾患別のケアと健康管理」を理解します。</p>	通信 2

7-3 認知症に伴うこととからだの変化と日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ・中核症状 ・行動・心理症状 ・色んな対応等 <p>「生活障害、心理・行動の特徴を理解し、利用者への対応と家族とのかかわり方を学びます。</p>	講義、演習 2
7-4 家族への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・受容課程での援助 ・介護負担の軽減 <p>「家族の気持ちやストレス」を理解し、関わり方を学びます。</p>	講義 1
8-1 障害の基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ICFの分類、医学的分類 ・ノーマライゼーションの概念 <p>「障害の概念とICFと基本理念」</p>	通信 0.5
8-2 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害、知的障害、精神障害、その他心身機能障害 <p>の認識習得を目的に学びます。</p>	合議 1.5
8-3 家族の心理、かかわり支援の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の理解・受容支援・介護負担の軽減等、家族の肉体的・精神的な負担を理解し、家族への支援を学びます。 	通信 1
9-1 介護の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ICFの視点 ・我流の排除 <p>「理論に基づく介護」や「法的根拠に基づく介護」を理解します。</p>	講義 2
9-2 介護に関することとからだのしくみの基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・学習と記憶・感情と意欲・自己概念と生き甲斐 ・適応行動と阻害要因・心と体の関係等を理解し生きがいとは何かを学びます。 	通信 5
9-3 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・人体各部名称と動きの基礎知識等自律神経と内部器官について学びます。 	通信 5
9-4 生活と家事	<ul style="list-style-type: none"> ・生活歴、自立支援・予防的な対応・主体性、能動性 ・多様な生活習慣、価値観等「家事と生活の理解、家事援助基礎知識と生活支援」について理解します。 	講義 4 通信 2
9-5 快適な居住環境整備と介護	<ul style="list-style-type: none"> ・快適な住居環境・高齢者、障害者 特有の住居環境と整備・福祉用具の留意点と支援方法をグループ演習を通じて学びます。 	講義、演習 3
9-6 整容に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の選択、着脱・身支度・整容行動・洗面の意義、効果等整容に関する基礎知識、整容の支援を演習して学びます。 	講義、演習 6
9-7 移動・移乗に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・移動・移乗・その用具と活用・負担の少ない移動、移乗を阻害する要因の理解と支援方法・移動と社会参加の支援を介護用具使用を交えて学びます。 	講義 12

<p>9-8 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事をする意味 ・ 食事のケアに対する介護者に意識 ・ 栄養障害 ・ 脱水の弊害 ・ 食事と姿勢 ・ 咀嚼、嚥下 ・ 空腹感、満腹感 ・ 好み、環境整備 ・ 福祉用具、口腔ケア ・ 誤嚥性肺炎予防等 <p>「食事の基礎知識、食事環境の整備・用具食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援」を学びます。</p>	<p>講義 6</p>
--	--	-----------------

<p>9-9 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 羞恥心、遠慮への配慮 ・ 体調確認 ・ 全身清拭 ・ 目、鼻腔、耳、爪の清潔方法 ・ 陰部清浄 ・ 足浴、手浴、洗髪 <p>「入浴、清潔保持の基礎知識、入浴用具と整容用具の活用方法、入浴を阻害するところとからだの要因と理解と支援方法」</p>	<p>講義、演習 6</p>
<p>9-10 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体面での意味・心理面での意味・社会的な意味 ・ プライド、羞恥心・プライバシー確保・おむつ ・ 排泄障害・排泄ケアの心理的負担、尊厳や生きる意欲との関係・トイレ介助の方法・便秘の予防等 <p>「排泄の基礎知識、環境整備、排泄用具の活用、爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法を学びます。</p>	<p>講義、演習 6</p>

<p>9-11 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>・介護の工夫・環境整備・安楽な姿勢・褥瘡予防</p> <p>「睡眠に関する基礎知識、睡眠環境と用具の活用方法、快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法を演習して学びます。」</p>	<p>講義、演習 4.5</p>
<p>9-12 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護</p>	<p>・終末期ケアとは・高齢者の死に至る過程</p> <p>・臨終に近い時の兆候と介護・介護従事者の基本的態度</p> <p>・多職種間の情報共有の必要性</p> <p>「終末期に関する基礎知識とところとからだの仕組み、生から死への過程、死に向き合うところの理解、苦痛の少ない死への支援を理解し、緩和ケア、家族への支援を学びます。」</p>	<p>講義、演習 1.5</p>
<p>9-13 介護過程の基礎的理解</p>	<p>・介護過程の目的、意義、展開</p> <p>・介護過程とチームアプローチ</p> <p>グループワークを通して、介護課程の展開に必要な構成を学びます。</p>	<p>講義、演習 2</p>
<p>9-14 総合生活支援技術演習 (事例による展開)</p>	<p>事例の提示↓</p> <p>ところとからだの力が発揮できない要因の分析</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">支援技術の検討</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">支援技術の演習</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">支援技術の課題 (1事例1.5時間程)</p> <p>※事例は高齢(要支援2程度、認知症、片麻痺、座位保持不可)から2事例を選択して実施します。</p> <p>「生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点の習得を目指します。」</p> <p>※ 項目の9-6～11においても同じ事例を用いて理解と技術の習得を学びます。</p>	<p>講義、演習 10</p>

10-1 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を通じて学んだこと・今後継続して学ぶべきこと ・根拠に基づく介護 についての要点 <p>「研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行い、終了後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をグループ討議で確認を図ります。</p>	講義 2
10-2 就業への備えと研修終了後における継続的な研修	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に学ぶこと・研修終了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所における実（Off-JT, OJT）等を紹介します。 	講義 2